

平成29年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月13日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 福
 コード番号 3440 URL http://www.kakou-nisso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-552-3749
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の連結業績（平成28年9月1日～平成29年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	2,607	—	299	—	303	—	197	—
28年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年8月期第2四半期 203百万円 (—%) 28年8月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	27.75	—
28年8月期第2四半期	—	—

(注) 平成28年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年8月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第2四半期	9,706	7,397	76.2
28年8月期	9,452	7,407	78.4

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 7,397百万円 28年8月期 7,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年8月期	—	0.00	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年8月期の連結業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	28.8	550	△8.6	555	△9.7	371	△4.7	52.07

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期2Q	7,360,000株	28年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	29年8月期2Q	235,350株	28年8月期	235,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期2Q	7,124,650株	28年8月期2Q	7,155,234株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

平成28年8月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較・分析については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府と日銀による経済政策及び金融緩和政策の継続等を背景に、緩やかな回復基調のもと推移し、企業収益の改善や設備投資の持ち直しの動きが見られました。

このような状況の中、当社グループ(当社及び連結子会社)は中期経営計画に基づき、M&Aの推進によるグループ経営の強化により、事業領域の拡大を図った結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,607百万円、営業利益は299百万円、経常利益は303百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は197百万円となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

<金属加工事業>

新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組むとともに個別案件に対しきめ細かな営業活動を行った結果、売上高は1,923百万円、セグメント利益は322百万円、当第2四半期連結累計期間末における受注残高は3,757百万円となりました。

<ゴム加工事業>

官公庁向けインフラ部材、電力会社向け部材等が堅調に推移し、売上高は639百万円、セグメント利益は126百万円となりました。

<建設事業>

親会社との情報連携を図り営業活動に取り組んだ結果、売上高は45百万円、セグメント損失は7百万円、当第2四半期連結累計期間末における受注残高は281百万円となりました。

(注)セグメント利益又は損失の合計額と営業利益との差異△143百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,931百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が398百万円減少し、受取手形及び売掛金が511百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,775百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。

この結果、資産合計は9,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ254百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ324百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が148百万円、その他が129百万円増加したことによるものであります。固定負債は879百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は2,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益197百万円及び剰余金の配当213百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は76.2%(前連結会計年度末は78.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月14日の「平成28年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,998,692	4,600,552
受取手形及び売掛金	996,545	1,508,051
商品及び製品	36,505	65,279
仕掛品	168,279	262,050
原材料及び貯蔵品	366,245	428,332
その他	151,547	67,268
貸倒引当金	△258	△402
流動資産合計	6,717,557	6,931,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	942,429	916,231
機械装置及び運搬具(純額)	849,159	895,683
土地	645,888	645,888
リース資産(純額)	25,741	21,845
建設仮勘定	11,498	41,351
その他(純額)	25,342	30,503
有形固定資産合計	2,500,058	2,551,503
無形固定資産		
のれん	111,172	99,867
その他	65,518	59,506
無形固定資産合計	176,691	159,373
投資その他の資産		
投資有価証券	43,439	53,631
その他	18,189	10,803
貸倒引当金	△3,857	△83
投資その他の資産合計	57,771	64,352
固定資産合計	2,734,521	2,775,229
資産合計	9,452,078	9,706,361

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,861	325,268
短期借入金	440,000	390,000
1年内返済予定の長期借入金	162,862	134,732
未払法人税等	37,336	121,908
賞与引当金	3,058	42,716
その他	284,872	414,617
流動負債合計	1,104,991	1,429,242
固定負債		
長期借入金	430,671	371,899
退職給付に係る負債	42,550	45,183
資産除去債務	1,307	1,792
その他	464,676	460,302
固定負債合計	939,204	879,178
負債合計	2,044,195	2,308,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	5,323,172	5,307,115
自己株式	△187,361	△187,361
株主資本合計	7,409,747	7,393,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,864	4,250
その他の包括利益累計額合計	△1,864	4,250
純資産合計	7,407,883	7,397,940
負債純資産合計	9,452,078	9,706,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	2,607,950
売上原価	1,863,758
売上総利益	744,191
販売費及び一般管理費	445,016
営業利益	299,174
営業外収益	
受取利息	148
受取配当金	1,899
受取家賃	2,646
受取補償金	1,217
その他	2,724
営業外収益合計	8,636
営業外費用	
支払利息	2,958
その他	893
営業外費用合計	3,852
経常利益	303,959
特別利益	
固定資産売却益	1,109
特別利益合計	1,109
特別損失	
固定資産除却損	154
特別損失合計	154
税金等調整前四半期純利益	304,914
法人税、住民税及び事業税	111,014
法人税等調整額	△3,781
法人税等合計	107,232
四半期純利益	197,682
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,682

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	197,682
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6,114
その他の包括利益合計	6,114
四半期包括利益	203,796
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	203,796
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成28年9月1日
至平成29年2月28日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	304,914
減価償却費	155,367
のれん償却額	11,305
貸倒引当金の増減額(△は減少)	144
賞与引当金の増減額(△は減少)	39,657
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,633
受取利息及び受取配当金	△2,047
支払利息	2,958
固定資産売却損益(△は益)	△1,109
固定資産除却損	154
売上債権の増減額(△は増加)	△511,505
たな卸資産の増減額(△は増加)	△184,633
仕入債務の増減額(△は減少)	148,407
その他の流動負債の増減額(△は減少)	40,450
未払消費税等の増減額(△は減少)	97,961
その他	△17,507
小計	87,152
利息及び配当金の受取額	2,047
利息の支払額	△2,614
法人税等の支払額	△37,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額(△は増加)	△28,554
投資有価証券の取得による支出	△889
有形固定資産の取得による支出	△93,821
有形固定資産の売却による収入	1,433
無形固定資産の取得による支出	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000
長期借入金の返済による支出	△86,902
リース債務の返済による支出	△3,051
配当金の支払額	△213,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	△353,693
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△426,694
現金及び現金同等物の期首残高	4,280,054
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,853,359

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,923,541	639,065	45,343	2,607,950	—	2,607,950
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	511	—	511	△511	—
計	1,923,541	639,576	45,343	2,608,462	△511	2,607,950
セグメント利益又は損失(△)	322,884	126,640	△7,044	442,480	△143,305	299,174

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△143,305千円は、セグメント間取引消去11,923千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△155,228千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は平成29年3月3日開催の取締役会において、綾目精機株式会社の全株式を取得し、同社を子会社化することについて決議し、同日付けで基本合意書を締結いたしました。その後、平成29年3月14日開催の取締役会において、平成29年3月16日付けで株式譲渡契約を締結し、平成29年4月7日付けで同社の全株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：綾目精機株式会社

事業の内容：金属精密切削加工業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、中期経営戦略に基づき、平成28年3月15日にゴム製品製造業の吾婦ゴム工業株式会社を子会社化し、また平成28年4月26日に建設業の日創エンジニアリング株式会社を設立しておりますが、本企業結合についても、「加工」をキーワードに事業領域の拡大（事業の多角化）を推進するとともに中期経営目標の達成と企業価値の向上を図ることを目的に、中期経営戦略遂行の一環として実施したものであります。

(3) 企業結合日

平成29年4月7日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	480百万円
取得原価		480百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 26百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
金属加工事業	1,420,542	—
ゴム加工事業	312,711	—
合計	1,733,253	—

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 平成28年8月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。
 4. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしておりません。

②受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
金属加工事業	2,396,163	—	3,757,334	—
ゴム加工事業	644,948	—	65,169	—
建設事業	326,962	—	281,619	—
合計	3,368,074	—	4,104,123	—

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 平成28年8月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
金属加工事業	1,923,541	—
ゴム加工事業	639,065	—
建設事業	45,343	—
合計	2,607,950	—

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 平成28年8月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。